



あらた 三枝新汰選手が表敬訪問

(7月20日)

2020-2021NJCAAD1MEN'S SOCCER CHANPIONSHIP (全米短期大学体育協会 1部リーグ 全米サッカー大会)で準優勝したアイオワ・ウェスタン・コミュニティ・カレッジに所属している三枝新汰選手が、市長に成績などの報告を行いました。三枝選手は、昨年8月にサッカー留学のため渡米しました。大会では、18試合に出場、3ゴール7アシストで準優勝に貢献しました。これからの活躍が楽しみです。

コズミックカレッジ 2021

(7月22日)

コズミックカレッジ2021 in 裾野が市民文化センターで開催され、25人の小・中学生が参加しました。宇宙教育リーダーの指導のもと、ロケットの仕組みや打ち上げ方法を学びながら、本物と同じ仕組みのモデルロケット作りに挑戦しました。完成したモデルロケットが、屋外の発射台から次々と打ち上げられると、子どもたちから大きな歓声が上がりました。



きれいな水に住む生物を探そう

(7月25日)

中央公園の佐野川で親子水生生物調査が行われました。小学生11人、保護者、市内の企業関係者の総勢31人が5班に分かれ、講師の指導の下、石の裏側にいる水生生物を捕まえ調査しました。きれいな水に住むヒラタカゲロウやサワガニが多く見つかりました。これからも、きれいな川の水を保っていきたいです。

特派員：中村 隆司

すその子ども議会を開催

(7月28日)

市制施行50周年記念事業すその子ども議会が、市役所5階議場で行われました。議員となったのは、市内の小学6年生9人。先生や保護者、友だちなど約30人が傍聴する中、学習施設や公園などの整備、人口減少対策、防災・交通安全対策など、市政全般にわたって提案や質問を行い、市長などが答弁しました。





子どもたちが図書館の仕事を体験 (8月4日)

鈴木図書館でなつやすみこども一日図書館員が開催され、市内に住む小学生22人が参加しました。子どもたちは、午前の部、午後の部に分かれて図書館や公民館内の見学をしたり、カウンターに入って本の消毒や来館者からの本の返却・貸出業務を体験したりしました。今回の子どもたちは全員初参加で、貴重な体験に目を輝せていました。

特派員：小林 建次

熱海市へ職員2人を派遣 (8月10日)

市長会・町村会の依頼に基づき、大規模土石流で被災した熱海市に、市税務課職員2人を派遣しました。派遣期間は7月27日(火)から8月3日(火)までの8日間で、被災した家屋の被害を調べ、全壊・半壊・一部損壊などの程度を判定する住家被害認定調査などに従事しました。派遣を終えた2人は現地での経験や、熱海市内の様子などを市長に報告しました。



「ふじさんの火」をパラリンピックの聖火に (8月17日)

東京2020パラリンピック聖火フェスティバル裾野市採火式が、市庁舎前で開催されました。セレモニーでは、江森甲二さん(佐野)が2010年に採火し保管していた『ふじさんの火』を、手をつなぐ育成会、身体障がい者福祉会の会員、東中学校文化総合部の生徒ら20人が手渡しリレーしました。『ふじさんの火』は県内各地の火と合わせ『静岡県の火』として、聖火リレーに使用されました。

**2市1町で
新たな広域連携の取り組みがスタート** (8月18日)

裾野市、三島市、長泉町の2市1町で、富士山南東スマートフロンティア推進協議会を発足し、発足会議が富士山南東消防本部(三島市)で行われました。協議会では、市町が連携し共に少子高齢化や行政のデジタル化などの地域課題の解決を図るため、首都圏からの移住の促進やテレワークの推進、先端技術の活用などを検討します。これからの、よりよい地域づくりが期待されます。

